

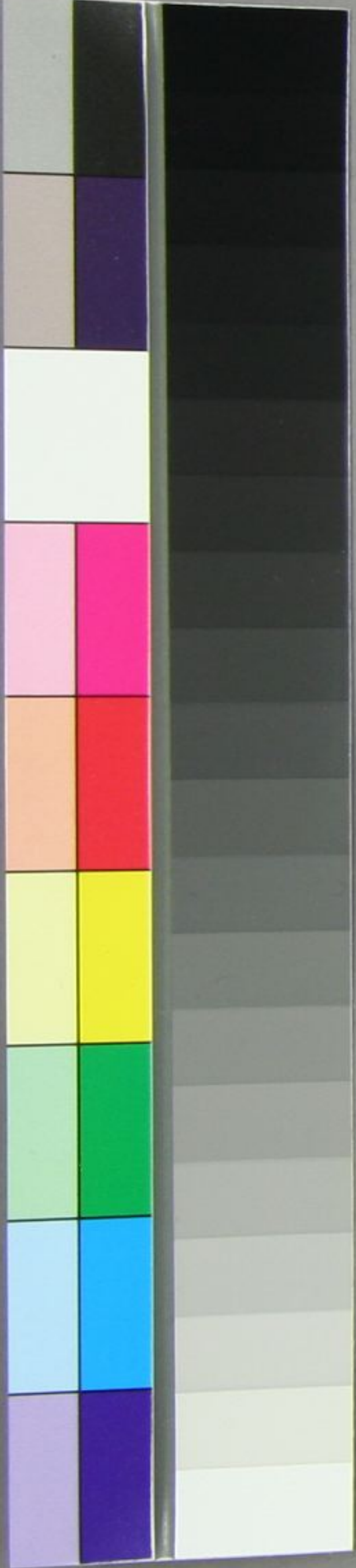
私儀所勞罷在候ニ付養生中運動ノ為メ
近歩相試候儀迄ニ類濟ニ而以來萬ト療
養差加罷在候得共兎角全快ニ至リ不申因
テ猶此後暫時之間前同様致養生度比
段奉願候也

明治八年四月十二日 参議兼大藏卿大隈重信

史官以中

第百一号

特別
114
D345



別紙願之趣聞届候事

明治八年四月十九



原書 卷之九 史官 明 六中二 卷 漢 某 抄 御

大正 宣